

# 施策資料の見方について

## 1. 資料の種類について

1つの施策につき、「施策作成シート」「施策チェックシート」「指標設定チェックシート」の計3種類の資料があります。

- ① 施策作成シート:新計画に掲載する施策案
- ② 施策チェックシート:施策内容の検討プロセスを記載した資料
- ③ 施策チェックシート:指標設定の検討プロセスを記載した資料

## 2. 「施策作成シート」について

以下のとおり、新計画に掲載する施策案の内容です。 ※施策によって、フォーマットが一部異なりますが、作成方法・考え方は同様です。

**【目指す姿】**  
 ■施策の実施により目指す「ヒトやまち」の状態を記載しています。

**【「現状・課題」を表す見出し】**  
 ■「現状・課題」を端的に表す見出しを記載しています。

**【現状・課題】**  
 ■各施策における現状(緑)と課題(青)を記載しています。  
 ■5年間の長期計画であることを意識し、以下の点を踏まえて記載しております。  
 ①施策における根源的な課題  
 ②最新の社会動向や法改正  
 ③区民ニーズ

まちづくりの方向性4 多彩な文化と産業で賑わいにあふれるまち



**施策 (4-7) 多様な役割をもつ新たな図書館の実現**

**目指す姿**

- 図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。
- 図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。

**【SDGsの目標】**  
 施策に関するSDGsの目標を掲載しています。

**【「取組方針」を表す見出し】**  
 ■取組内容の方向性を端的に表す見出しを記載しています。

**取組方針**

**情報収集、読書・学習スタイルの多様化**

SNS、電子メディア、配信サービス、オンライン販売等の普及により、区民の情報収集、読書、学習のスタイルが多様化しています。区民の知的欲求が高まる一方、子どもや若者の読書離れ、活字離れが指摘されています。多様化する区民ニーズに対応するためには、関係機関等とのさらなる連携による読書活動の推進、DX推進によるサービスの充実・効率化等を進める必要があります。

**地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとして図書館の整備**

- 地域の文化・観光資源を生かした**特色ある図書館づくり**、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を進めます。また、知の拠点として、**地域文化の保存・継承を促進**するほか、司書等図書館員の資質向上、地域文化創造館等との連携のもと、それぞれの**知的好奇心、探求心、向学心を踏まえた多様な学びを支援**します。
- 電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、**地域の情報センターにふさわしいDX推進**を図ります。
- 保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等幅広い主体と連携・協働し、**年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を確立**します。

**図書館の新たな役割への期待**

近年図書館は、生涯学習施設としてだけでなく、地域の活性化やまちづくりに欠かせない存在として注目されています。また、居場所や交流の場など、**図書館の新たな役割への期待が高まっています**。新たな図書館への変革には、利用者視点による空間づくりが重要であるため、改築・改修による施設整備の機会を逸することなく最大限活用する必要があります。

**居場所(サードプレイス)、交流の場、創造の場としての図書館の整備**

- 施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる**居場所(サードプレイス)としての空間づくり**をすすめます。
- 「子どもと一緒に周囲に気兼ねなく利用したい」「読書や学習に専念したい」「カフェコーナーが欲しい」など、多様な利用者のニーズに応じた**居心地のよい図書館環境**を整備します。
- 図書館や本を通じて、**多くの人がつながり、交流できる**よう、ホールやグループ活動室など、ハード面の整備、イベントなどソフト面の充実を図ります。
- 図書館が**国籍や母語を越えた発見や交流の場**となるよう、**多文化サービスを拡充**します。
- 知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援などを通じ、地域の発展とその担い手育成につながる、**創造の場としての図書館づくり**をすすめます。

**【取組方針】**  
 ■「現状・課題」に対する取組方針を記載しています。  
 ■個別の事業・取組の詳細ではなく、**取組内容の方向性**を示しています。  
 ■現計画からの変化や施策における新たな要素、今後5年間で特に意識する点を**赤字**にしています。  
 ■区民目線の分かりやすい表現を意識して記載しています。  
 ■基本構想の以下の3つの理念を意識して記載しています。  
 ①誰もがいつでも主役(主に多様性の尊重)  
 ②みんながつながる(主に参画と協働)  
 ③「としま」らしさがあふれる

**【施策の効果を表す代表的な指標】**  
 ■施策の効果を表す代表的な指標を2つ記載しています。  
 ■原則、2つの成果指標を記載しています。2つの成果指標を設定できない場合は、成果指標を1つ、活動指標を1つ記載しています。

**【施策の効果を表す代表的な指標】**

成果指標①	現状値 (2023年)	目標値 (2029年)	成果指標②	現状値 (2023年)	目標値 (2029年)
年間図書貸出数	2,092,784冊	2,300,000冊	年間図書館来館者数	1,512,313人	2,000,000人

### 3. 「施策チェックシート」の内容と「施策作成シート」との関係

まちづくりの方向性4 多彩な文化と産業で賑わいにあふれるまち



施策チェックシート	
1. 施策名	
旧	新
施策名	多様な学習活動の支援と学の循環の創造(8-2-1)
新	多様な役割をもつ新たな図書館の実現
2. 施策のポイント	
現状	課題
①SNS、電子メディア、配信サービス、オンライン販売等の普及により区民の情報収集、読書のスタイルが多様化している。 ②「貸出・閲覧にとどまらない新たな図書館の役割への期待が高まっている。」	①時代の変化や区民ニーズの多様化へのさらなる対応は求められる。 ②新たな図書館への変革には空間づくりが重要であり、施設整備の機会を逸することなく生かしていく必要があります。
3. 現計画における主な事業	
計画事業	
点字図書館障害者サービス事業(345)	
子どもの読書活動支援事業(346)	

【施策名】  
現計画と新計画における  
施策名称を記載しています。

【施策のポイント】  
施策におけるポイント(「現状」「課題」「取組方針」)を端的に記載しています。

【現計画における主な事業】  
計画事業: 未来戦略推進プラン2024掲載の計画事業  
その他事業: 計画事業に該当しないその他の事業

#### 施策(4-7) 多様な役割をもつ新たな図書館の実現

##### 目指す姿

- 図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。
- 図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。

##### 取組方針

##### 情報収集、読書・学習スタイルの多様化

SNS、電子メディア、配信サービス、オンライン販売等の普及により、区民の情報収集、読書、学習のスタイルが多様化しています。区民の知的欲求が高まる一方、子どもや若者の読書離れ、活字離れが懸念されています。

多様化する区民ニーズに対応するためには、関係機関等とのさらなる連携による読書活動の推進、DX推進によるサービスの充実・効率化等を進める必要があります。

##### 図書館の新たな役割への期待

近年図書館は、生涯学習施設としてだけでなく、地域の活性化やまちづくりに欠かせない存在として注目されています。また、居場所や交流の場など、図書館の新たな役割への期待が高まっています。

新たな図書館への変革には、利用者視点による空間づくりが重要であるため、改築・改修による施設整備の機会を逸することなく最大限活用する必要があります。

##### 地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとして図書館の整備

○ 地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を進めます。また、知の拠点として、地域文化の保存・継承を促進するほか、司書等図書館員の資質向上、地域文化創造館等との連携のもと、それぞれの知的好奇心、探求心、向学心を踏まえた多様な学びを支援します。

○ 電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、地域の情報センターにふさわしいDX推進を図ります。

○ 保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等幅広い主体と連携・協働し、年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を確立します。

##### 居場所(サードプレイス)、交流の場、創造の場としての図書館の整備

○ 施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる居場所(サードプレイス)としての空間づくりをすすめます。

○ 「子どもと一緒に周りに気兼ねなく利用したい」「読書や学習に専念したい」「カフェコーナーが欲しい」など、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します

○ 図書館や本を通じて、多くの人がつながり、交流できるよう、ホールやグループ活動室など、ハード面の整備、イベントなどソフト面の充実を図ります。

○ 図書館が国語や母語を超えた発見や交流の場となるよう、多文化サービスを拡充します。

○ 知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援などを通じ、地域の発展とその担い手育成につながる、創造の場としての図書館づくりをすすめます。

##### 【施策の効果を表す代表的な指標】

成果指標①	現状値(2023年)	目標値(2029年)	成果指標②	現状値(2023年)	目標値(2029年)
年間図書貸出数	2,092,784冊	2,300,000冊	年間図書館来館者数	1,512,313人	2,000,000人

【環境変化(社会動向・法改正・背景等)】  
施策における環境変化を記載しています。

【区民・関係団体等の声】  
区民・関係団体等の声: 施策に関係する区民や関係団体等の意見や要望などを記載しています。

【基本構想の3つの理念を意識した点】  
以下の基本構想の3つの理念を意識し、どのように施策に反映させたか記載しています。

- ①誰もがいつでも主役(主に多様性の尊重)
- ②みんながつながる(主に参画と協働)
- ③「としま」らしさがあふれる

#### 4. 「指標設定チェックシート」の内容と「施策作成シート」との関係

指標設定チェックシート		
施策名	4-7	多様な役割をもつ新たな図書館の実現
部課名	文化商工部 図書館課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針	定量的評価		定性的評価 数値目標では捉えられない/ 数値化できない評価の視点
		成果指標	活動指標	
<p>○図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。</p> <p>○図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。</p>	<p>(1) 地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとしての図書館の整備 ○地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な読書・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を促進する。 また、知の拠点として、地域文化の保存・継承を促進するほか、市民図書館の充実向上、地域文化創造館等との連携のもと、それぞれの役割を、向学心に促した多様な学びを支援します。 ○電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、地域の情報センターに求められる機能を果たします。 ○保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等幅広い主体と連携・協働し、年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を構築します。</p> <p>(2) サードプレイス(サードプレイス)、交流の場、創造の場としての図書館の整備 ○施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる居場所(サードプレイス)としての空間づくりをすすめます。 ○「子どもと一緒に遊べる気兼ねなく利用したい」「読書や学習に専念したい」「カフェコーナーが欲しい」など、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します。 ○図書や本を通じて、多くの人がつながり、交流できるよう、ホールやグループ活動室など、ハード面の整備、イベントなどソフト面の充実を図ります。 ○図書館が国語や母語を越えた発見や交流の場となるよう、多文化サービスを拡充します。 ○知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援などを通じ、地域の発展とその担い手育成につながる、創造の場としての図書館づくりをすすめます。</p>	<p>① 年間図書貸出件数</p> <p>② 読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数</p>	<p>③ レファレンス(調べもの支援)の実施回数</p> <p>④ 点字図書館(ひかり文庫)の蔵書数</p>	<p>本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか 子どもの読書活動の推進に図書館がどれだけ寄与しているか 視覚に障害がある人、日本語を母語としない人など、読書の課題を抱えている人の読書活動に図書館がどれだけ寄与しているか</p>
		<p>① 年間来館者数</p> <p>② 利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかというと満足」と回答した人の割合</p>	<p>③ 講座、イベントの開催回数</p> <p>④ 館内の座席設置数(7館合計)</p>	<p>本人の生活や地域の課題解決にどれだけ図書館が寄与しているか</p>

「目指す姿」と「取組方針」に対応した成果指標と活動指標を記載しています。

現状では数値化できないが、本来は成果として捉えるべき視点を記載しています。

#### まちづくりの方向性4 多彩な文化と産業で賑わいにあふれるまち

#### 施策(4-7) 多様な役割をもつ新たな図書館の実現

**目指す姿**

- 図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。
- 図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。

#### 取組方針

**情報収集、読書・学習スタイルの多様化**

SNS、電子メディア、配信サービス、オンライン販売等の普及により、区民の情報収集、読書、学習のスタイルが多様化しています。区民の知的欲求が高まる一方、子どもや若者の読書離れ、活字離れが指摘されています。多様化する区民ニーズに対応するためには、関係機関等とのさらなる連携による読書活動の推進、DX推進によるサービスの充実・効率化等を進める必要があります。

**図書館の新たな役割への期待**

近年図書館は、生涯学習施設としてだけでなく、地域の活性化やまちづくりに欠かせない存在として注目されています。また、居場所や交流の場など、図書館の新たな役割への期待が高まっています。新たな図書館への変革には、利用者視点による空間づくりが重要であるため、改築・改修による施設整備の機会を逃すことなく最大限活用する必要があります。

**地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとしての図書館の整備**

- 地域の文化・観光資源を生かした特色ある図書館づくり、蔵書の充実、他の図書館との連携強化、多様な講座・展示等を通じて、区民の暮らしを豊かにし、地域の課題解決につながる情報発信を促進する。また、知の拠点として、地域文化の保存・継承を促進するほか、司書等図書館員の資質向上、地域文化創造館等との連携のもと、それぞれの知的好奇心、探求心、向学心を踏まえた多様な学びを支援します。
- 電子図書館の充実、手続きのオンライン化、サービスのセルフ化等、地域の情報センターにふさわしいDX推進を図ります。
- 保育園、子どもスキップ、区民ひろば、小中学校及び学校図書館、大学その他企業、団体、ボランティア等幅広い主体と連携・協働し、年齢、障害の有無等を問わず、様々な機会、場所、方法で読書を楽しめる環境を確立します。

**居場所(サードプレイス)、交流の場、創造の場としての図書館の整備**

- 施設の改築・改修にあわせて、家庭、学校、職場とは異なる、ほっとできる居場所(サードプレイス)としての空間づくりをすすめます。
- 「子どもと一緒に遊べる気兼ねなく利用したい」「読書や学習に専念したい」「カフェコーナーが欲しい」など、多様な利用者のニーズに応じた居心地のよい図書館環境を整備します
- 図書館や本を通じて、多くの人がつながり、交流できるよう、ホールやグループ活動室など、ハード面の整備、イベントなどソフト面の充実を図ります。
- 図書館が国語や母語を越えた発見や交流の場となるよう、多文化サービスを拡充します。
- 知識を得る場としてだけでなく、体験型講座、ワークショップ、グループ支援などを通じ、地域の発展とその担い手育成につながる、創造の場としての図書館づくりをすすめます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

成果指標①	現状値(2023年)	目標値(2029年)	成果指標②	現状値(2023年)	目標値(2029年)
年間図書貸出数	2,092,784冊	2,300,000冊	年間図書館来館者数	1,512,313人	2,000,000人

指標の各年の実績値・目標値、算出方法、設定理由、出典を記載しています。

■上記の情報から総合的に判断して、最も施策の進捗状況を測るのにふさわしい指標2つを基本計画の指標として「施策作成シート」に記載しています。

■それ以外の指標は、経年の行政評価(施策評価)の補助指標として活用する予定です。

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

指標名	単位	新基本計画期間(2025-2029)							後期計画と同じ指標一継続 新計画で新規設定一新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
		2023 実績値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値		
成果指標 ① 年間図書貸出件数	冊	2,092,784	2,120,000	2,160,000	2,200,000	2,240,000	2,270,000	2,300,000	新規	
成果指標 ② 読み聞かせボランティアを派遣して開催したおはなし会の延べ参加人数	人	2,241	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	継続	
活動指標 ③ レファレンス(調べもの支援)の実施回数	回	48,140	48,800	49,000	49,200	49,400	49,600	50,000	新規	
活動指標 ④ 点字図書館(ひかり文庫)の蔵書(資料)数	点	6,752	6,760	6,770	6,780	6,790	6,800	6,800	新規	
成果指標 ① 年間図書館来館者数	人	1,512,313	1,600,000	1,650,000	1,750,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	新規	
成果指標 ② 利用者アンケートの総合評価のうち「満足」「どちらかというと満足」と回答した人の割合	%	95.5	95.8	96.1	96.3	96.5	96.7	97.0	新規	
活動指標 ③ 講座、イベントの開催回数	回	742	750	760	770	780	790	800	新規	
活動指標 ④ 館内の座席設置数(7館合計)	席	652	652.0	652.0	700.0	700.0	720.0	720	新規	

【3. 計画に掲載する指標の選定】

指標種類	取組方針及び指標番号	選定指標	選定理由
1 成果指標(区民意識調査以外)	(1)-①	年間図書貸出数	・各取組方針の進捗を図るにふさわしく、施策を最も広く表していると考えられるため。 ・同指標を記載することによって、図書館の基幹的役割、新たな役割双方を利用者の視点をもって科学的に表すことができるため。
2 成果指標(区民意識調査以外)	(2)-①	年間図書館来館者数	